

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	・溝掃除及び区の新年会並びに老人会に入会している。 ・真に地域の住民となるために、地域行事に積極的に参加していききたい。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	・日々の活動において、常に運営理念を頭に入れて取り組んでいきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	夏休みに宿題にグループホームを見学に来られた子供たちをきっかけとして、今では日々学校帰りに立ち寄り顔が見せている。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	・年々地域行事への参加が多くなってきており、今後は地域の方々の方が施設に気楽に立ち寄りてもらえるように努めていきたい。

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域の民生委員及び福祉委員の方から認知症及び高齢者の介護に関する相談を受けている。	○	・当社には認知症に関する専門的スキルを持った職員が多いことから、介護相談を増やしていきたい。 ・新年会に参加した際に、民生委員さんと親しくなり、高齢者の所へ一緒に訪問した。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・職員は部門目標・個人目標を立て、毎月自己評価を行い、管理者へ報告している。 ・管理者は職員の自己評価に対しコメントを記入しフィードバックしている。 ・外部評価の指摘内容及び改善内容については、ホーム内に掲示し、職員はもとより利用者・家族に周知している。	○	・観念的な自己評価でなく、数値で明確となる評価に努めている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議には区長・民生委員・福祉委員等に出席してもらい、活発な意見・提言をいただき、サービス向上に努めている。	○	・家族の方に多く出席してもらい、多くの意見・要望を聞く場にしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・敦賀市の介護相談員に訪問していただき、介護相談員からの提言を積極的に活用している。	○	・毎月第三水曜日に訪問してもらい、利用者様・職員との話し合いを行っている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・権利擁護の制度については、毎年1回ミーティング等において研修を実施している。		・権利擁護の研修により、職員の理解はされている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・職員全員に虐待防止に関する誓約書を提出させている。	○	・これからも虐待防止の学習に取り組み、虐待が見過ごされることがないように努めていく。

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約内容の説明は行っている。その際疑問点があればその都度説明を行い理解してもらっている。</p>	<p>○</p> <p>・今後も利用者・家族等の不安・疑問点を尋ね、理解・納得してもらうよう努めていく。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・利用者が意見をいう場として、年2回の家族会及び2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。</p>	<p>○</p> <p>・利用者からの意見・苦情を聞いた場合は、早急に解決するように努めていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・個々の家族の状況に合わせ話しをさせてもらっており、特に健康状態に変化があった場合にはその都度伝えている。</p>	<p>○</p> <p>・暮らしぶりに関しては、家族が来所された時に伝えていきたい。 ・今後定期的に書面で、家族に状況を伝えて行きたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・年2回の家族会を開催し、意見交換を行っており、意見・要望についてはその後の運営に反映させている。</p>	<p>○</p> <p>・家族会への多くの参加及び活発な意見交換に努めていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・毎月グループホームミーティング及び全体ミーティングを開催し、職員が積極的に発言できる場を提供している。</p>	<p>○</p> <p>・毎月のミーティングにおいて職員の活発な意見交換に努めて行きたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・職員の配置については、柔軟に対応している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・職員の配置については、極力長期間となるよう努力しているが、退職等止むを得ない場合もあり、事前に顔を覚えてもらうなど、利用者への影響がないよう努めている。</p>	

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・職員にはケアマネージャー・介護福祉士などの資格を取得するよう受験を勧めており、試験前には勉強会を開催するなど支援をしている。</p>	<p>○</p> <p>・本年度から全社的な教育担当を配置し、教育体制の強化に努めていきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・同業者との交流は特にしていないが、会議等の場において積極的な意見交換を行っている。</p> <p>・当社のグループホーム同士については、くもん学習を通じて職員・利用者同士の意見交換を積極的に行っている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・役員による職員の個人面談を定期的実施し、悩み・相談に応じている。</p>	<p>○</p> <p>・職員のストレス解消については、今後とも工夫をこらして実施していきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・管理者及び職員に個人目標・自己評価を毎月記入してもらい、役員がより向上するようアドバイスしている。</p>	<p>○</p> <p>・個々においても学習し経験を積みレベルアップを図るよう支援していく。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・信頼関係構築の為、傾聴・共感の姿勢を忘れず向き合っている。</p>	<p>○</p> <p>・対応の上手な職員を手本に自分なりの対応を学んでいくように努めていきたい。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・半年に1回家族会を開催し、意見交換を行っている。また、家族の来訪時に話す機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>・情報提供出来るよう努力をしていきたい。(家族の方の来訪日数が増え、信頼関係が徐々に出来つつある。)</p>

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人・家族の話を良く聞きその意向をくみとり、適切なサービス利用を進めている。	○	・正確なニーズ把握に努めていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・事前の見学を受けいれている。		・今後も続けて行きたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・利用者と生活を共にしながら職員も利用者から学んでいる。	○	・支えあう関係作りの為、利用者との関係をより深くしていくよう努力していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・定期的に話し合いを行い、家族との連携を深めている。	○	・家族会及び運営推進会議に家族の方が多く出席してもらい、多くの意見・要望を聞く場にしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・利用者と家族の話を良く聞き、よりよい関係づくりに努めている。	○	・第三者としての役割を適格に把握し、利用者と家族の良い関係づくりに努めていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・利用者の友人・知人の来訪は歓迎しており、定期的な来訪をお願いしている。		・連絡先を聞くなど、関係が途切れないよう努力して生きたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・日中は出来るだけホールで過ごし、利用者同士が常に関われる場を作っている。	○	・利用者同士の関係が悪くならないような場の提供に努めていきたい。

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・特に行っていない。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人の意向把握に努め、本人本位に検討している。	○	・本人の意向に少しでも近づけられるよう努め、その人らしい暮らしが出来るよう努めていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・情報収集は常に行っている。	○	・本人や家族の会話や活動の中から本人の情報を少しでも得られるように努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・生活の中でのちょっとした変化に気づくことが出来るようにしている。	○	・主観的ではなく客観的な判断を、していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ケアカンファレンスを行い、介護計画を立てている。	○	・他職種やより多くの職員の意見を取り入れ、より質の高い介護計画を作成できるよう努めていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・カンファレンスは利用者の状況変化や時間の経過に応じて行っており、その評価を踏まえ計画を作成している。		

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・記録ファイルに日々の様子を記入し、その状況をふまえて介護計画を見直している。	○	・正確な記録の記入を徹底していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・会社全体では多種類の介護サービスを行っているため、意見交換が出来ることから、介護の参考になっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・ふれあいサロンの活用を行っている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・特になし		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・特になし		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・定期的にかかりつけ医に受診する為の支援をしている。		

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医との相談については積極的に実施している。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・看護師からアドバイス・指示が常にあり、健康管理を行っている。	○	・助言を生かし健康管理に努めていきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・病院関係者との連携を行っている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・終末期に向けた対応については、家族と事前に話し合っている。	○	・家族、医療関係者とのチームケアを徹底していきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・家族、医療関係者と話し合いで取り組んでいる。	○	
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・そういったケースがない。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人の尊厳を大切にしている。	○
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・自己決定を大切にしている。	○
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・職員のペースに合わせている場合がある。	○ 利用者一人ひとりのペースを大切に、少しでも希望に沿えるようように努めていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・馴染みの理髪店に来てもらっている。また、近所の美容院へ出かける人もいる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・食べたいものを聞き、メニューに生かしている。	○ ・出来ること・出来ないことを考えながら楽しめるよう努めていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人にコーヒーやお茶を選んでもらっている。	○ ・疾患も考慮しながら好みを取り入れていきたい。

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・1人1人の習慣を把握し、その人のパターンで援助出来るよう心掛けている。	○	排泄パターンの観察を行い、記録を確実にしていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・月・水・金曜日を入浴日としている。	○	・拒否に対しては個別の対応を行っている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・眠れない時には横で添い寝をし、話をしたりして安心して眠れるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・個別的な援助は「くもん学習」を中心に行っている。	○	・野菜作りが好きな方がおり、去年はトマトの苗を植え、収穫したトマトを全員で食べた事もあり、今後も実施していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・実施していない。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天気の良い日は声掛けし、散歩に出かけている。	○	・希望に合わせて、鯉公園・近所の公園・買い物に出かけるようにしていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・季節に応じ、花見・栗拾いなどを全員で行っている。		

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・行っていない。	○	可能な方への援助は行いたい。(ハガキでも良い)
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・何時でも受け入れをしており、本人が強く希望する時はこちらから連絡をとって来て貰っている。	○	・気軽に来て頂ける環境作りを心掛けたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束をしないケアを心掛けている。	○	・身体拘束の学習機会を持っていきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・鍵はかけていない。	○	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・転倒など危険防止に充分心掛けている。	○	・大きな事故を回避する努力をしていきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・危険な物等は利用者の目に入らないようにしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・職員の連携を大切にに取り組んでいる。	○	・様々な事例を学び、事故防止に努めていきたい。

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・人工呼吸やAEDなどの講習を実施した。	○	・大変重要な事なので、研修を行い身に付くまで行いたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・地域の方の連絡先を入れた緊急連絡体制を作成している。		・地域の方の協力を得られるよう、努力していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・特に行っていない。	○	・家族との話し合いを重ね、少しでも本人の希望、家族の希望に近づくようにしていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・変化に気付いた時にはバイタルサインを測定し、看護師に報告し指示をもらっている。	○	カンファレンスを行う事で話し合いを行い、速やかな対応につなげていきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・処方箋の確認を行い、変更は連絡ノートを用い連絡して注意点を明らかにしている。	○	・薬の作用・副作用を知る事も大切なので、今後学習をして行きたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・毎日ヨーグルト及び水分の摂取量のチェックを行っている。	○	・日中の活動量の増加に努めていきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・歯科衛生士による口腔ケアを実施している。	○	・歯科衛生士との連携を図り、介護職も口腔ケアが出来る様にしていく。

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・バランスの良い食事を心掛け、なるべく自分で食べる事を大切にしている。	○	・水分の摂取量の不足がないよう日々確認している。また、不足の際は補充している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・食前の手洗いの施行、予防注射を受けている。	○	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・ほぼ冷蔵庫で保管している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・花を飾っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・清潔にも注意して季節の飾りを行っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・1人になれる居住場所はない。		

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室には写真等を飾ったりしているが、本人の馴染みの物を配置してない。	○	・家族に対して協力をお願いし、出来るだけ利用者宅の環境に近づけるようにしていきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・換気は頻繁に行っている。	○	・温風ヒーターで乾燥するので湿度に気を配りたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・設備面については安全面及び自立した生活が送れるように配慮した造りにした。	○	・安全に関する各設備の点検を実施する。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・職員が手を出しすぎるきらいがあるので、残存機能の維持に努めている。	○	・出来る・出来ない事の再確認に努めていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・プランタで四季の花々を観賞できるようにしている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

敦賀ケアセンターかくだ「あずさ」

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

①「くもん学習」を実施し、脳の活性化を図っている。 ②生活リハビリに力を入れ、夕食の準備は利用者の出来る方達と包丁を使い、自分の出来る事を維持していく努力をしていること。 ③家族の方達と連絡を密にしており、利用者・家族から喜びの声が寄せられている。